

メールマガジン 2023年2月

クロッカスや、schneeglöckchen・スノードロップニ待雪草が、いつの間にか道端にひっそりと咲き始めていることに最近気が付きました。自然界は春へと静かな一歩を踏み出し始めており、戦争や自然災害等で心が痛む日々ですが、私たちにたくさんの喜びと勇気を与えています。

2017年から始めたママの会は6年目を迎えようとしていますが、3月になると発足当時のメンバーは皆無となり、これまで九家族を日本へ見送ったこととなります。娘のような年齢の方々に、脳腫瘍の手術をした際にはお見舞いのカードに「教会の方々の助けもあると思いますが、私たち娘を是非頼ってくださいい…」という優しさに涙したことは人生の宝ものとなっています。時の流れと共に新しいメンバーも入会され、4月からはその方々と共に新たに備えられている道を一緒に歩み始めて参ります。種蒔きできる幸いに感謝しつつ…。

また、昨年から一年間、大学からサバティカルを頂いた数学の研究者の方とその奥様も3月に帰国されます。海外教会特有の多くの出会いと別れを味わいながら過ごしています。

さて1月末には、教会定期総会が行われ、今年の方向性を一同が確認したのですが、新しい役員に若い方が選任され教会の大きな喜びとなりました。これまで何十年もの間、お二人の役員の方が担ってくださっていますが、昨年一人加わり、そして今年また新たに四人体制となりました。主が私たちの教会を愛してくださっていることを確信した総会となりました。早速、今月の役員会に参加され、新しい風が吹き込まれています。

既にお知らせしていた通り、いよいよ2月21日～4月4日迄、宣教報告のため日本に一時帰国いたします。しかし教会では、原因不明により体調が思わしくない姉妹や、コロナウイルスによる感染者の続出、また、日本におられるご高齢のお母様の具合が悪く急遽帰国された方など、多くの課題を抱えており、日本に帰国することは、はばかられていたのですが、最近一つひとつが解決されてホッとしました。

留守の教会が守られて、日本でのご用が全うできますようにお祈り頂けると幸いです。尚、ドイツでの宣教の業を共に担ってくださっている全ての教会や敬愛する皆さまの元にご挨拶にお伺いしたいのですが、限られた時間のために、失礼することもあると思います。誠に恐縮ですが、その辺の事情をお汲み取りいただけると幸いです。

日本も春の足音が聞こえ始めている頃だと思います。皆さまのご健康が支えられて喜びの春をお迎えますようにお祈り申し上げます。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

### 静かな春の訪れ



2月16日(木)から2月22日(水)までの間は、ノルトライン＝ヴェストファーレン(NRW)州内各都市で「カーニバル」が最盛期を迎えます



日本入国の際に必要なアプリ

